

正誤表

雑誌「産婦人科の実際」第74巻11号（2025年11月号）に誤りがございました。下記のとおり訂正し、お詫び申し上げます。

2025年11月

金原出版株式会社

記

頁	訂正箇所	誤	正
1076	左段下から2行目～右段上から4行目	<u>当院では、のべ500件以上の分娩において会陰切開や3度裂傷は認められず、頸管裂傷91例、2度裂傷1例にとどまった。そのほかの症例では抗菌薬や鎮痛薬の投与はなく、母体の回復や授乳への影響もほとんどみられなかったことが確認された（図1）。</u>	当院では、のべ500件以上の分娩において会陰切開・3度以上の会陰裂傷は認められなかった。また、2020年からの278件においては会陰1度裂傷91例(33%)、2度裂傷1例(0.4%)にとどまった（ 図1 ）。2度裂傷1例以外は抗菌薬・鎮痛薬の投与もなく経過したが、母体の回復や授乳への影響はみられなかった。

以上

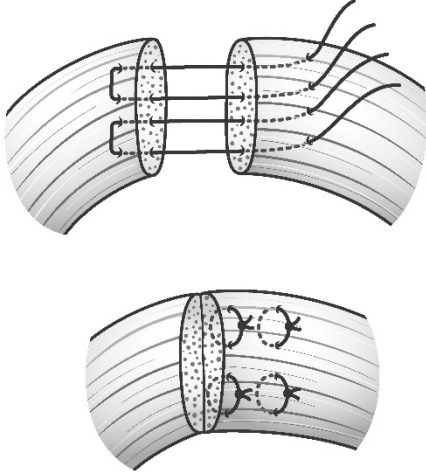
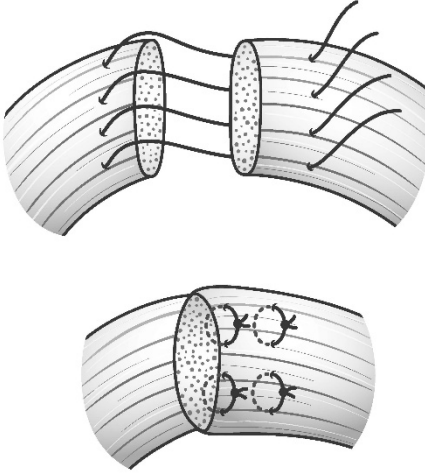
正誤表

雑誌「産婦人科の実際」第74巻11号（2025年11月号）に誤りがございました。下記のとおり訂正し、お詫び申し上げます。

2025年11月

金原出版株式会社

記

頁	訂正箇所	誤	正
1056	図4		

以上